

浄願寺だより

H31 冬 No.11

遠方にお住まいのご門徒さんから、定期的にお寺の近況を聞かせてほしい、どの要望があり、このたび「浄願寺だより」としてお寺をとりまく身近な出来事を取りまとめてお知らせしようと思ひます。夏冬二回の発行を予定しています。

平成三十一年一月二十七日発行

編集責任者
浄願寺住職 関 秀法

〇〇祈願と浄土真宗

手前味噌のような話になりませんが、私の母が、「嫁いで来たのが、浄土真宗のお寺でよかつたと思う」という意味の事を言っていたことがあります。そして、その理由がなかなか興味深いものでした。

それは、「浄土真宗の寺に入ってから、占いや、まじないや、〇〇祈願というようなことを気にしなくてもいいと思えるようになって、心がずいぶん楽になった」というのです。

皆さんの中には、この母のコメントを意外に思われる方もいらっしゃるでしょう。なぜなら一般に、お寺に「まじない」や「祈願ごと」はつきもののように思われていることが多いからです。

現に、年始の新聞などを見ると、〇〇寺で大祈願祭、今年一年の無病息災、家内安全、厄払い、交通安全、合格祈願、と正月らし

い華やかな「まじない」「祈願」の広告が並んでいるのが目を引きます。しかし、よくよく見てみるとわかりますが、そういった「まじない」「祈願」の広告を出しているお寺に、浄土真宗のお寺は一つも無いはず。また、本願寺をはじめ、日本中のどの浄土真宗のお寺に行っても、お札やお守りを買っているところはありませぬ。もつといえは今流行りの「ご朱印」さえもないのです。これはいったいどうしてなのでしょう？

今から2500年前のインドでは、飢饉や疫病、天変地異が起こるたび、人々はバラモンと呼ばれる司祭者に祈禱を頼み、また占いやまじないに依つて少しでも災難から逃れることができよう祈ることしかできませんでした。

しかし、そこにお釈迦さまという人が現れ、「人生はそもそも思い通りにならないものであ

り、思い通りにならないものを思い通りにしようと思ひ願う心には人は苦しむのである」と説き、人生は思い通りにならぬものと認めたとうで、悠々と正しく生きる道を人々に示したのでした。

浄土真宗を開いた親鸞もまた、そのお釈迦さまの精神に深く共鳴してゆきます。「占いや、まじないに頼らず、加持祈禱に依らず、ただ阿弥陀仏の救ひにまかせて行く道」を伝えました。

そういったお釈迦さまや親鸞聖人の教えを受け継ぎ、現在でも浄土真宗のお寺では、「占いや「祈禱」につながるお札やお守り、朱印の類は置かない事になつています。また「〇〇祈願」などの行事もありません。

人によつては、「せつかくお参りに来たのに……と物足りなく思われるかも知れませんが、せつかくお寺に参つても、世俗的なご利益ばかりに目を奪われ、

「思い通りにならない現実を生きている」事への気付きや、「生かされている」事への感謝の心を曇らせてしまつては、本末転倒だと思ふのです。

もちろん、他の宗派のお寺のまじないや祈願ごとの行事を否定したり批判するような事はあつてはいけませんし、浄土真宗のご門徒の皆さんがそういった行事に参加されることを止めることもありません。

ただ、せつかくの仏教のご縁に出会われたのですから、「祈つても願つても決して思い通りにはならない現実をどう生きるか」を説いた、お釈迦さまや親鸞聖人の教えの力強さに触れてみていただけたら、と思ひます。

母曰く、それはずいぶん「心が楽になる」ことなのだそう。す。

平成三十一年

一月のまいつき法座 住職法話より

新ともしび会が

発足します

平成31年4月より、浄願寺の教化組織が変わります。

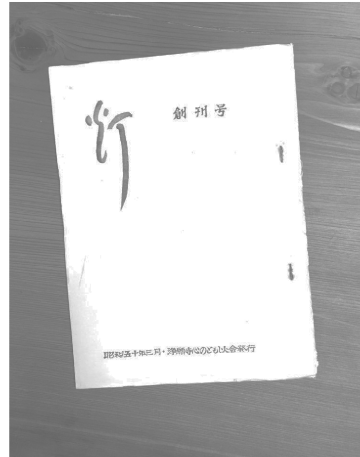
これまで、仏教壮年会、仏教婦人会、ともしび会の三つの団体がそれぞれに活動を続けていきましたが、本年4月より三団体を新「ともしび会」に一本化し、役員・会計・名簿等をスリム化して再スタート致します。

現「ともし火会」は昭和四十九年に発足し、特に篠尾地域の門徒様を中心に、強い結束力をもつて浄願寺の活動を支えて来ていただきました。

中でも毎年3月に発行される会誌「灯」には、毎回多くの会員様が文章を寄せてくださり、お寺の事のみならず、家庭の事、旅行の事、政治経済、俳句、川柳、短歌と実に多様で、毎年楽しく意義深い紙面を作っていたいています。今年で四十五号を数える会誌「灯」の発行は、新しい組織になっても是非とも続けて行きたいと考えています。

新「ともしび会」には、篠尾地

域の方々のみならず、より幅広い地域や年代の方々にも会員となっていたいただき、いろんなアイデアを出し合って、もっと気軽に楽しくお寺に集まれるような工夫を色々と考えて行きたいと思っております。どうぞ、新「ともしび会」をよろしくお願い致します。



昭和五十年発行 会誌「灯」創刊号

お寺の掲示板

おどろくず
他人とくらべず
困難と面白がって
平気で生きればいい
樹木希林

門徒の広場は
WEB版ではご覧いただけません

編集後記

何年前からでしょうか、私の母親がフィギュアスケートの羽生結弦くんにハマってしまったのは、雑誌、新聞の切り抜きはもちろん、スマホを買い、孫に使い方を教わり、動画も見れるようになりました。春には、東京に実際の競技も見に行くそうです。最初のうちは「いい歳して・・・と白けた視線を送っていた私たち家族も、「75才、これほど真剣に好きになれるものがあるのは素晴らしい事かもしれない」と思い直し、最近では皆で母を応援しています。

浄願寺の新しい墓苑です。



ふるさとの杜 墓苑

新永代供養墓は4月に完成予定です。詳しくは任職まで。

浄土真宗本願寺派
篠尾山 浄願寺

〒620-0925

福知山市上篠尾725

電話0773-22-5280

email jyouganjiweb@gmail.com

http://www.jyouganji.com

住職 関 秀法